

Mランドささ山校 ニュース Vol. 32

平成21年11月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940
発行責任者 豊田 文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

Mランドファンの集い開催

実行委員長 井本 徹
(愛チームリーダー)

■十月二十五日(日)、爽やかな秋晴れの下、第四回「Mランドファンの集い」を開催しました。

回を重ねることにお迎えするゲストも増えて、今年は、市内はもちろん、遠くは愛知、三重、奈良、福井、そして大阪、神戸

の各地から約一〇〇名の卒業生、ご招待のお客様、ご近所の方々

を含めると一五〇名以上のご参加をいただきました。中には、合

宿当時に懐かしみ前泊で友情を確かめ合った方も三〇数名、

また二回め、三回めというゲストや家族友人と連れ立っての参加

などMランドをこよなく愛していただいている様子が胸が熱くなります。

普通は一度卒業すれば二度と来ることのない所が自動車教習所ですが、こうして教習当時のキラキラとした笑顔で帰って来られたのを迎ええております

と、『ありがとう』の言葉以外に浮かびません。

私たち「やわらぎチーム」では、ゲストの方に自分の手で掃除などボランティア活動をするこ

で、

いろいろな気づきを体験していただき、また今回のようなイベントを通して新しい自分の発見や友達を創る場を企画しています。

しかし、いつもそうなのですがイベントの機会を提供するのは私たちはゲストのみなさんで、その楽しそうでイキイキした様子は入所された時期はそれぞれ違っても信じ合える仲間の集まり、ソウルメイトそのものです。

益田校からお茶席、広島焼きのコーナーで応援していただき、こうして一年に一度のファンの集いは、『感動と再会』をテーマにコースいっぱいに笑顔と歓声が広がり、まさに私たちMランドの活動ぶりが評価された実りの秋、感謝祭となりました。



《再会に話が弾みます》

秋、感謝祭となりました。

の活動ぶりが評価された実りの秋、感謝祭となりました。



《Mランド卒業の大阪音楽大生のミニコンサート》



即席チームで長縄跳びに挑戦！



《戦国武将、歴史大好き指導員アッキーは甲冑姿で参上！》



社員が持ち寄った品々でチャリティバザー



《息もピッタリ！指導員によるドライビングパフォーマンスにギャラリ―は拍手喝采》



「えびせん」は大人気！



《ファイナレは名残惜しいもの。でも、篠山名産丹波黒枝豆をおみやげにお元気で、行つてらっしゃい！》

でも、篠山名産丹波黒枝豆をおみやげにお元気で、

行つてらっしゃい！



《参加者全員で輪になってみんなでソウルメイト(Mランドオリジナル曲)を歌いました》

今、若者に伝えたい事

■「Mランドファンの集い」の第一部として、社長の小河二郎よりご参加のみなさまにご挨拶を申し上げました。要旨をご紹介します。

(前略)

みんなで今よりいい世の中にしなければなりません。そのためにみなさんをお願いしたいことは、『親孝行をしてください』ということ です。親孝行といっても捉え方がいろいろありますが、私が申し上げたいのは親を凌ぐ、親より立派になるということ です。

親は子に、自分より人生を楽しんでもらいたい、自分にできなかったことをやらしてもらいたい、成長してもらいたいという思いで育てるものです。その期待に応えること。それに報いるのが親孝行です。みなさんが考えなければならぬことは、親に「立派になったな」と言われること、これが成功するということ、人生の成功者となることです。成功とは決して金持ちになるとか、物をたくさん持っているとい

うようなことではありません。

成功するための第一の要因は、「人から好かれる」ということです。哲学などでは、本来、自分というものはなく、あるのは他との関係性があるだけだと言われます。親との関係、友人との関係、社会との関係など周囲との関係を良くすることを考える。これが人に好かれるということ です。今日はたくさんの方が集まっています。とにかく多くの人と友達になつてください。

つぎに、どうしたら人から好かれるだろうか？というところ、それは「明るい人になる」ということです。前向きにものごとを考える、あいさつをする、ありがとうと言える、笑顔など、人はネガティブよりもポジティブの方が理屈抜きで好きなのです。明るくふるまっていればますますいい関係がつけられていきます。

今、Mランドでは指導員にゲストの長所を見なさいということを行っています。普通、教習所ではできないことを見つけて減点する減点主義で、これは欠点ばかりに目がいくことになりま



参加者を前に挨拶をする小河社長

す。Mランドでは減点主義に注目する加点主義です。そうすると自然にその人の長所が見えてくるようになります。Mランドでの教習や生活など全てに以上のような雰囲気、空気があることに実はみなさんは気づいていらっしゃいます。だからこうして今日再びMランドを訪れていただいたのだろーと思ひます。Mランドでの当時の体験を思い出し、今日またそれを反すうして、互いのことを思い、友情を確かめ合つて、また会おうということ、さき山校がお役に立てたならたいへん有り難いこととお礼申し上げます。ありがとうございます。

T M 研修開始

■このたびT Mを社内導入するにあたり、社員が順次研修に入りました。

T M(トランセンデンタル・メディテーション)とは超越瞑想といい、人類最古の文献、インドのヴェーダの知識から引き継がれてきた、誰にでもできる簡単で効果的な瞑想法です。

なぜ、MランドがこのT Mを導入しようとしたのかといひますと、自動車教習所は施設や車両など一定の基準に合致していることは当然ですが、運営の上でもまた実際に教習を受ける方の身になつても、一番大切なのは教習指導員やスタッフ、つまり「人」であると考えからです。

教習所に限らずいろいろな教育の場面では、(既に免許をお持ちの方でしたら教習所に通っていた頃のことを思い出してみてください。い。教える側と教わる側として指導する者の在り方はそれを受ける者に強く影響を及ぼします。

T Mの効果には、ストレス

が減少し、心の安定性、集中力、効率性が増し、人間関係が改善されるなどというところが六百もの科学的研究データから確証がなされています。

つまり、指導員やスタッフが心身共にいいコンディションでゲストと接して、最高の状態や結果を引き出すことができるようにすること、これがこのたびの導入の目的です。



T Mについて講師から説明を受ける社員

《T M実践者談》

私は、二十年位前に、Mランド益田校で習得し、今も続けています。T Mは、集中することも、努力する必要もなく一回十五分〜二十分、一日二回、ただ座って目を閉じる時間をとるだけでいいのです。たったそれだけで本当にリフレッシュできるのです。(豊田文雄)

編集後記

■「ファンの集い」が終わり、社内の雰囲気グロウアップしたように感じます。それは準備の段階からのプロセスや成し遂げた達成感が社員みなで共有できた連帯感からだろうと思います。このことはこれからのいろいろな面において、より良い形となって現われてくるものと予感させます。

十一月になり、いよいよ高校生の入所シーズンとなります。免許取得は一生に一度のことと考えれば、単に運転技術の習得というだけでなく、本当に役に立つ教習所であればならいと考えます。高校卒業という人生の岐路に立ち、ゲストが勇気と希望に満ち、新たな道を歩まれますよう、私たちはMランドマインドをしっかりと発揮していきたいと思ひます。(文)



コース内にも楽しさを演出